

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和2年8月14日

【事業所概要(事業所記入)】

| | |
|---------|--|
| 事業所番号 | 4674200060 |
| 法人名 | 社会福祉法人 伸志会 |
| 事業所名 | グループホームのぞみ |
| 所在地 | 鹿児島県薩摩川内市祁答院町藺牟田2013番地6 (電話) 0996-31-8101 |
| 自己評価作成日 | 令和2年6月25日 |

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

| | |
|-------------|---|
| 基本情報リンク先URL | http://www.wam.go.jp/ |
|-------------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | |
|-------|---------------------|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人NPOさつま |
| 所在地 | 鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号 |
| 訪問調査日 | 令和2年8月7日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

温泉地にあるグループホームであり、ホーム内でゆったりと温泉に浸り、四季折々の自然を楽しみながら、静かな環境の中で生活されています。一人ひとりのペースを大切にしながら、入居者様の持てる力を発揮し、これまでやってこられた家事をスタッフと一緒にしています。出来ることを役割とすることで、生活の張り合いとなられ、毎日の日課とされている方もいらっしゃいます。

- ・食事は管理栄養士の献立で料理し栄養面は管理されています。行事食(彼岸のぼたもち、節分、ひな祭り等)を提供し、保存食(梅干し、干し大根、干し柿、塩筍、らっきょう漬、あく巻き等)も入居者様と一緒に作り、季節を感じて頂けるようにしています。
- ・恒例の桜の花見や初詣の他、外出の機会として月2回ドライブデイを設け、1時間半程度のドライブに出かけ、気分転換や楽しみとなるようにしています。日頃の生活の中でのレクリエーション活動も工夫し、好きなことややりたいことが出来るようにしています。
- ・2か月毎に<のぞみ新聞>を発行し、ご家族には近況報告の手紙を添えて届けています。また地区コミや市役所支所にも置かせてもらい、情報発信を行っています。
- ・敷地内にはクリニックがあり、隣接して同法人の特別養護老人ホーム等もあり、医療・福祉の連携を取り、安心して生活できる環境にあります。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームの近くには、ラムサール条約指定湿地に登録された藺牟田池があり、山々に囲まれた自然豊かな環境に立地している。また、敷地内に協力医療機関があり、道路向かい側には同法人の運営する特別養護老人ホームもあり、地域の医療、福祉の拠点になっている。

ホーム独自の理念のほか、職員全員で話し合い策定しているキャッチフレーズ(本年度は「笑顔で返す ありがとう」)を玄関とリビングに掲示し、毎朝の申し送り時に唱和することで意識付けを図り、日々のケアや支援に反映させている。管理者は、概ね理念に即した支援ができており、理念を補足する意味合いと、「笑顔」をテーマにキャッチフレーズを策定し、利用者や家族、地域住民との関係性を大切にしている。

ケアプランを作成する際は、利用者と家族の意見や思いを尊重すると共に、毎月実施しているケア会議やモニタリング結果、主治医の意見も参考にしながら作成しており、利用者と家族の望む暮らし方やケアの方法についても詳細に組み込まれているため、日々の支援につなげられやすいプランとなっている。

コロナウィルスの影響で面会制限が継続されていたり、担当者会議や運営推進会議等で関係者が集まらない状況ではあるが、可能な限りこれまでの生活や支援の継続を図りたいと職員は考え、密にならない場所へのドライブやホームの実情を、いろいろな機会を通じ報告することで理解につなげている。

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている | 理念やキャッチフレーズを作り、申し送り時復唱し、全スタッフで共有し、常に意識している。 | 理念に加え、本年度のキャッチフレーズである「笑顔で返す ありがとう」を玄関とリビングに掲示し、毎朝の申し送り時に唱和することで意識付けを図り、日々の支援につなげている。 | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 地域の方々との交流はないが、クリニックの定期受診時知り合いとの交流は時々ある。ボランティアの訪問や特養の行事への参加によって交流がある。 | 例年であれば法人主催の夏祭りや運動会、学生の実習の受け入れ等実施しているところだが、新型コロナウイルスの影響で実施できない状況が続いているため、夏祭りに代わるホーム独自の行事計画を検討中である。 | |
| 3 | | ○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている | 中学生の福祉体験や高校生の介護実習の受け入れを行い、支援方法を教えているが地域の方へ向けては活かしていない。 | | |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 2ヶ月に1回の運営推進会議を行っており、GHの取り組みやサービス内容、利用者様の状況等を報告し、いろいろな意見を頂いている。 | 会議には家族代表や地域住民、消防職員、行政職員等が参加し、活動内容の報告や利用者状況の説明のほか、参加者に意見をもらいサービスの向上に活かしている。現在、新型コロナウイルスの関係で全員が集まれない状況ではあるが、会議録の交付により実情の理解につなげている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 5 | 4 | <p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p> | <p>運営推進会議にも市の担当者が参加して下さり、その中で実情の報告をし、取り組みを伝えている。</p> | <p>運営推進会議の記録と、のぞみ新聞を隔月に持参するほか、介護認定更新時等に行政を訪問している。また、日常的にメールでの情報交換も多く、グループホーム連絡協議会の研修についてもリモート化が進んでいる。</p> | |
| 6 | 5 | <p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p> | <p>身体拘束廃止委員会を3ヶ月に1回行い、拘束をしないケアを話し合っている。帰宅願望が強い利用者様があり、日中も施錠をしなければならないが、家族の同意も頂き、転倒や事故、怪我の無いようにしている。</p> | <p>3ヶ月毎に身体拘束廃止委員会を開催し、拘束しないケアの方法や拘束の有無についてを確認している。日々の様子観察から利用者の状況を把握し、利用者が外出しそうな場合は特に見守りを重視するよう努めている。言葉による拘束については、方言も含め、威圧的にならないよう努めると共に、行動を制限させないよう気を配り支援している。</p> | |
| 7 | | <p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p> | <p>研修会やケア会議等で虐待防止の勉強会を行い、防止に努めている。スタッフがお互い気をつけて声かけ等は行っている。</p> | | |
| 8 | | <p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p> | <p>研修等で学ぶ機会はあるが、しっかりと理解できていないところもある。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 9 | | <p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p> | <p>入居前に本人、ご家族と面会を行い、入居時、説明をし、理解、納得を頂いている。</p> | | |
| 10 | 6 | <p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | <p>年1回の家族会や面会時、ケアプランの更新時にご家族の要望を聞き、利用者様とは、居室や入浴時にゆっくりと話す機会を設け意見を聞いている。面会簿に意見欄を設けてあり、感想や意見を書いて下さっている。</p> | <p>4月に予定していた家族会は新型コロナウイルスの関係で実施できず、面会制限も続いているため、のぞみ新聞にはできるだけ多くの写真を掲載することでホームの状況を伝え、意見や感想を頂けるよう努めている。また、ケアプラン作成時には利用者や家族の意見、要望を把握するため、来所時や電話等により確認している。</p> | |
| 11 | 7 | <p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p> | <p>職員会議やケア会議等に意見を出し、話し合いの機会があり、反映されている。会議以外でも日常的に話し合える関係である。</p> | <p>管理者は日常的に職員の意見を取りと共、毎月のケア会議や隔月実施している職員会議でも意見を出してもらい業務に反映させている。勤務表作成時には可能な限り職員の希望する休みが取れるよう調整したり、研修に参加できるよう配慮している。</p> | |
| 12 | | <p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p> | <p>職場環境や条件の整備には努められている。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 13 | | <p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p> | <p>法人内の研修には参加している。その他の研修は、交替で参加させて頂いている。</p> | | |
| 14 | | <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p> | <p>顔合わせの機会は時々あるが、交流や勉強会は行えていない。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------|------|---|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 入居前に本人に逢いに行き不安ことや要望などを聞いて、GHでの生活がスムーズに安心して過ごして頂けるようにしている。 | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 入居時にご家族の方にも話を聞いて、意見や要望をしっかりと受け止めるように努めている。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 本人、ご家族両方の要望、意見を聞き、その方に合ったサービスを支援出来るように努めている。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 本人の出来る力を引き出し、力量に合った作業等をして頂いている。本人も楽しみにやって下さっている。施設ではなく家の様な雰囲気野菜切りや洗濯物たたみ等を共にし、またちまき作り、梅干し作りは利用者様に教えて頂き、お互いに支え合うように努力している。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 19 | | ○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 出来る限り、ご家族との絆を大切に頂き、季節の行事、誕生会に参加して頂いたり、2ヶ月毎にのぞみ新聞とお手紙で近況を報告している。 | | |
| 20 | 8 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 家族や親せきの方の面会はあるが、お友達や近所の方の面会はあまりない。家族との外出、墓参りやお盆、正月の帰省をされる方もある。ドライブデイを利用して自宅へ行ったりする時もある。 | 以前は正月やお盆に自宅に帰省したり、お墓参りや買い物にも出かけていたが、コロナウィルスの影響で、馴染みの人や場所に出かけられなくなったため、電話や手紙の取り次ぎのほか、ドライブに出かける機会を増やすようにしている。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | リビングでの座席は仲の良い方や話や気の合う方が近くになるようにし、利用者様同士の関係が良くなるように支援している。居室にいらっしゃる方にも声かけし、レクリエーション、体操等に参加して頂いている。 | | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 退居された後の関係性は大切にしているが、相談や支援は行っていない。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 一人ひとりの会話の中から本人の希望や思い、困っていることや不安なことを聞きだし、できるだけ本人の思いを大切にしている。困難な時は、本人本位に検討している。 | 利用者との日頃の会話や様子から思いを汲み取ると共に、意思疎通が難しい場合は、家族や入居前の関係者等からも情報を収集している。知り得た内容は「連絡帳」に記載し職員間で共有している。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 生活歴や生活環境の把握に努めている。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | バイタルチェックや様子観察で心身状態の把握に努め、生活の中で有する力を早くに見極められるように努めている。 | | |
| 26 | 10 | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 毎月ケア会議を行い、毎日の生活の中で注意すべき点や介助方法をスタッフ全員で話し合い、ご家族にも面会時や電話等で意見や要望を聞いて介護計画を作成している。 | 本人、家族の思いや要望を基に、毎月のケア会議で話し合われた支援内容や主治医の意見も参考にケアプランを作成している。プランには家族や地域住民等との関係や排泄時の支援方法についても詳細に記載されており、日常の関わりや支援に即したものとなっている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 個人録に一日の様子を記入し、申し送り帳、連絡帳でスタッフ間で情報共有出来るようにしている。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 本人の希望を聞き購入したい物、不足している物については、家族に相談しながら、職員が購入している。 | | |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 地域のボランティアさんの訪問やのぞみ園の7行事への参加など、暮らしを楽しむことができるよう支援している。 | | |
| 30 | 11 | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 本人や家族の希望がない限り、同敷地内にあるクリニックをかかりつけ医にして頂き、月2回の定期受診と早期受診、治療に努めている。 | 利用者全員が隣接する協力医療機関をかかりつけ医としているため医療連携が図りやすく、本人、家族、職員の安心につながっている。受診の内容は連絡帳や受診記録に記載することで、情報の共有を図っている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | <p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p> | <p>看護スタッフがいないため、かかりつけ医のDr.や看護師に相談している。</p> | | |
| 32 | | <p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p> | <p>病院関係者と情報交換や相談をしながら安心して治療が出来るように努めている。</p> | | |
| 33 | 12 | <p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p> | <p>終末期ケアはしていないため、入居時に重度化した時の説明を行っている。そのような状態になられた時は家族と話し合いながら、本人にとって何が一番良いかを考え支援に努めている。</p> | <p>重度化した場合の対応についての指針に代り「グループホームのぞみQ&A」を作成し入居時に説明している。終末期ケアは行っておらず、嚥下状態の悪化や要介護状態が重度化した場合は、本人や家族、医師等により、今後の支援方法について話し合っている。</p> | |
| 34 | | <p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p> | <p>応急手当、初期対応、AEDの講習も行っているが、実践へとつながっているかは不安である。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 35 | 13 | <p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p> | <p>年2回の火災避難訓練を行っている。通報訓練も毎月行っている。夜間想定避難訓練には、地域の消防団や近隣の方々にも参加して頂き協力体制を築いている。</p> | <p>年2回、夜間想定火災訓練や水害訓練を地域住民の参加も得ながら実施するほか、毎月自主的に通報訓練を実施している。地域住民には主に避難場所での見守りをお願いしている。備蓄は災害用の米や飲料水、レトルト食品を約3日分程度準備している。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 14 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 個々の生活や暮らし方は違っているので、人格を尊重し、その方に合った言葉かけを行っている。プライドを傷つけないよう心掛けているが時々大声になったり、上から目線の声かけになったりする時がある。 | 毎月のケア会議の中でプライバシーや個人情報に関する内容について話し合い確認している。時に利用者に対する言葉遣いが荒くなることもあり、その都度職員間で声をかけ合ったり、ケア会議で話し合うことで注意喚起につなげている。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 日常生活の中で服選び、レクリエーションの内容、入浴の有無等、様々な場面で自己決定が出来るように声かけしている。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 一人ひとりのペースに合わせた支援に心がけているが、時々スタッフの都合になってしまうことがある。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している | 定期的に散髪し行事や外出時のおしゃれの支援をしている。顔のお手入れをされる方への化粧品の準備、時々マニキュアをするおしゃれ等の支援を行っている。 | | |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 野菜切り、食後の食器洗い、台拭き、お盆拭き等個々の力を活かし、スタッフと一緒にされている。食事前の献立表読みや「いただきます」のあいさつも毎日交代で声に出して言って下さっている。 | 包丁を使って野菜を切ったり、食器洗い等の食事の支度を利用者や職員と一緒に話し合いながら行っている。外食が難しいため、季節メニューを工夫したり、ちまき作りやジャム作りを楽しみ、毎日の食事に提供している。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 日常生活記録に食事摂取量、水分摂取量を記入している。管理栄養士の立てた献立であり、栄養バランスは確保されている。一人ひとりの健康状態や病気に合わせた支援（ミキサー食、刻み食、とろみ使用）を行っている。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 毎食後、一人ひとりの口腔状態や力量に応じた口腔ケアを見守りや声かけをしながら支援している。 | | |
| 43 | 16 | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている | おむつ使用はなく、排泄パターンを把握しながらトイレへの声かけ誘導を行っている。排便チェックも行い、薬を服用された時にはトイレで排便が出来るよう声かけしている。 | 日中はトイレでの排泄を基本とし、夜間のみポータブルトイレを使用したり、睡眠を妨げないよう容量の大きいパットを使用する等、状況に合わせて対応している。職員全員の介助方法が同じになるよう、個々の支援方法をケアプランに詳細に記載している。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 食事、水分もしっかり取って頂き、朝食前の牛乳摂取や10時のヨーグルト摂取で予防に努めている。毎日、排便チェックをし、服薬や坐薬を使用し調整している。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 45 | 17 | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している | 一日置きに温泉入浴して頂いている。入浴時間等職員の都合になっているが、体調や気分等に合わせながらゆっくり入って頂いている。 | 温泉のため入浴剤は使わないが、ゆず湯を楽しむなど季節を感じられる工夫をしている。希望があれば毎日の入浴も可能であり、入浴後は皮膚ケアやスポーツ飲料による水分補給で体調管理にも努めている。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 好きな時間に休んで頂き、安心して休めるように照明や室温、湿度に気をつけている | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 薬の目的、副作用等の説明書を確認し理解に努めている。誤薬の無いように名前、日付けを二人のスタッフで確認し服用して頂いている。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 力量に合ったお盆拭き、茶碗洗い、洗濯物干し等役割を持たれている。日々のレクリエーションで歌や、塗り絵。計算、作り物等好きな事を支援している。朝の新聞も楽しみにされている。 | | |
| 49 | 18 | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 希望に添っての外出支援は難しいが月2回のドライブでの外出支援を行い、戸外に出かけられるように支援している。季節の花(桜、コスモス、イチョウ等)を見に出かけている。 | 季節毎の花見や森林浴、外食の予定を年間行事計画に組み込んでいるが、コロナウィルスの影響で思うように外出できない状況が続いている。人が密集する場所へは出かけられないが気分転換は必要なため、ドライブ計画を立て出かける機会を作っている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | <p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p> | <p>数千円のお小遣いは事務所で預かっており、一人ひとりの希望や力に応じて使用して頂いている。なかなか支払の機会はないが、お茶飲み（ランチ）の外出時はお金の支払いが出来るように支援している。</p> | | |
| 51 | | <p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p> | <p>希望があれば電話をして頂き、また電話があれば取り次ぎ話をされている。贈り物が届いたら、お礼の電話をされている。年賀状を家族に送られるよう支援している。</p> | | |
| 52 | 19 | <p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>壁面等には四季折々の作品が装飾されて、季節を感じられるようにし、居心地の良い空間づくりに努めている。庭に咲いた花等をリビングや玄関に飾っている。温度、湿度にも気をつけ、冷暖房の調整をこまめに行っている。</p> | <p>リビングは明るく、ソファはゆとりをもって配置されているため、好みの場所に座ってくつろぐことができる。また、四季が感じられるよう利用者と職員が一緒に作った季節毎の作品を展示している。また、こまめに換気を行ったり、加湿器や除湿器を利用するなど空調にも気を配っている。</p> | |
| 53 | | <p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p> | <p>共同空間には、ソファがあり、レクリエーションを楽しんだり、気の合う同士、会話をされたり、TVを見たりし、それぞれ過ごされている。一人が良い方は食卓自席に座って過ごされている。食卓やソファの座り位置は利用者同士の相性や身体面に合わせて決めている。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 54 | 20 | <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>自宅より持ち込まれたタンスやテレビ等を置かれている。レクリエーション時に作成されたカレンダーや誕生日カード等を飾られている。</p> | <p>全室畳室となっており、自分の部屋がわかるよう居室入口に名前と写真を掲示している。テレビやタンス等、これまで自宅で使っていた馴染みの家具を持ち込むことで、居心地良く過ごせる環境に配慮している。</p> | |
| 55 | | <p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p> | <p>ホーム内の動線には手すりが設置してあり、トイレ、居室、お風呂の場所の目印をしている。歩行時の邪魔にならないよう置物を最小限にした空間作りをしている。</p> | | |

V アウトカム項目

| | | | |
|----|---|---|---------------|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25) | | 1 ほぼ全ての利用者の |
| | | ○ | 2 利用者の2/3くらいの |
| | | | 3 利用者の1/3くらいの |
| | | | 4 ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38) | | 1 毎日ある |
| | | ○ | 2 数日に1回程度ある |
| | | | 3 たまにある |
| | | | 4 ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38) | ○ | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37) | ○ | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49) | | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | ○ | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |

| | | | |
|----|--|---|---------------|
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31) | ○ | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28) | ○ | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19) | ○ | 1 ほぼ全ての家族と |
| | | | 2 家族の2/3くらいと |
| | | | 3 家族の1/3くらいと |
| | | | 4 ほとんどできていない |
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19) | | 1 ほぼ毎日のように |
| | | | 2 数日に1回程度ある |
| | | ○ | 3 たまに |
| | | | 4 ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4) | ○ | 1 大いに増えている |
| | | | 2 少しずつ増えている |
| | | | 3 あまり増えていない |
| | | | 4 全くいない |

| | | | |
|----|------------------------------------|---|---------------|
| 66 | 職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12) | | 1 ほぼ全ての職員が |
| | | ○ | 2 職員の2/3くらいが |
| | | | 3 職員の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。 | | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | ○ | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。 | | 1 ほぼ全ての家族等が |
| | | ○ | 2 家族等の2/3くらいが |
| | | | 3 家族等の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |